

第2回全九州高等学校総合文化祭鹿児島大会放送部門 第40回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会鹿児島大会 実施要項

1 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望を持つ人間としての成長をめざし、あわせて九州地区における校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる。

2 ねらい

- ア. 美しく豊かな日本語を大切にすることの心情を育て、あわせて、話す力、表現する力を高める。
- イ. 校内マスコミの送り手としての自覚と創造性を育てる。
- ウ. 学校生活の中におけるおいをもたらし、心のふれあいの場をつくる。
- エ. 現代社会における人としてのあり方、生き方を学ぶとともに、放送のはたす役割を考える。
- オ. 九州地区における校内放送活動の向上をはかる場をつくる。

- 3 主催** 九州高等学校文化連盟 鹿児島県高等学校文化連盟
- 4 共催** 鹿児島県教育委員会 NHK鹿児島放送局
- 5 主管** 九州高等学校文化連盟放送専門部 鹿児島県高等学校文化連盟放送専門部
- 6 大会会場** かがしま県民交流センター
〒892-0816 鹿児島市山下町 14-50 Tel. 099-221-6602

7 大会運営委員会事務局

全九州高等学校総合文化祭放送部門 専門委員 下野 加納
〒892-0863 鹿児島県鹿児島市西坂元町 58 番 1 号 鹿児島商業高等学校内
TEL 099-247-7171 FAX 099-248-3170
E-Mail k302kshi@keinet.com

8 大会日程

平成30年12月7日(金)～9日(日)

日	時間	概要	会場(県民交流センター)
7 (金)	11:00～15:00	部門受付 ※総合受付 ※総合開会式	県民交流センター ※宝山ホール
	12:00～13:00		
13:00～14:40			
8 (土)	16:00～17:30	運営委員会	3階大研修室1
	17:30～18:30	審査委員会	4階大研修室4
	8:40～9:00	出場受付 アナウンス ラジオ番組 テレビ番組	1階県民ホール前
	9:10～9:30	開会行事 ・開会のことば ・主催者挨拶 ・来賓挨拶 ・優勝杯返還 ・諸連絡	1階県民ホール
	9:45～12:55	アナウンス部門準決勝	1階県民ホール
	10:00～16:30	ラジオ番組部門準決勝	4階大研修室3
	10:00～17:10	テレビ番組部門準決勝	3階大研修室2
	12:45～13:05	朗読部門出場受付	1階県民ホール前
	13:35～17:05	朗読部門準決勝	1階県民ホール
	17:25～18:15	校内放送活動研究集会①	1階県民ホール
9 (日)	8:00～	決勝進出者・決勝進出作品発表	※会場入り口掲示(web閲覧可) 各県事務局に連絡
	9:00～9:25	決勝出場受付	1階県民ホール前
	9:50～10:50	アナウンス部門決勝	1階県民ホール
	9:50～11:50	ラジオ番組部門決勝	4階大研修室3
	9:50～12:00	テレビ番組部門決勝	3階大研修室2
	11:00～12:10	朗読部門決勝	1階県民ホール
	12:30～13:00	講評(校内放送活動研究集会②)	1階県民ホール
	13:00～13:30	閉会行事 ・成績発表ならびに表彰 ・主催者挨拶 ・次期開催県挨拶(宮崎県) ・閉会のことば 諸連絡	
13:30～13:40			

9 コンテスト実施各部門ならびにエントリー数

部門	エントリー数	決勝進出数
アナウンス	72名(各県8名 但し福岡、開催県は12名)	20名程度
朗読	72名(各県8名 但し福岡、開催県は12名)	20名程度
ラジオ番組	40作品(各県5作品)	10作品程度
テレビ番組	40作品(各県5作品)	10作品程度

10 表彰

	アナウンス	朗 読	ラジオ番組	テレビ番組
優 勝	1名	1名	1作品	1作品
	優勝杯、賞状			
準優勝	1名	1名	1作品	1作品
	トロフィー、賞状			
第3位	1名	1名	1作品	1作品
	トロフィー、賞状			
優良賞	各部門決勝進出17名程度		各部門決勝進出7作品	
	賞状			
奨励賞	—	—	各部門5作品程度	
	賞状			
入賞(全参加者)	全エントリー			
	賞状			

11 校内放送活動研究集会

各部門についての講評及び研修と九州各県高校放送部活動の報告などを実施し、文化交流を深める。

12 各部門の課題・参加規定

(1) アナウンス部門

- ① 自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。
- ② エントリー番号、氏名を含め、1分10秒以上、1分30秒以内でアナウンスする。
※学校名は読まず、エントリー番号の後にすぐ氏名を読む。
- ③ 審査基準
 - (a) 校内放送に使用する内容であること。
 - (b) 審査の視点
 - ・ 内容
 - (ア) 素材の選び方は適当であるか。
 - (イ) 文章表現は適当であるか。
 - ・ アナウンスの技術
 - (ア) 自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。
 - ・ 発声 ・ 発音 ・ マイクの使い方
 - (イ) 正しく意味を伝える抑揚表現ができているか。
 - ・ 内容把握 ・ イントネーション ・ プロミネンス ・ アクセント
 - (ウ) 間（ポーズ）は適切か
 - ・ テンポ ・ ポーズ
 - (エ) 元気があり、明るく演じるものは良いが、歌い上げ・作り声・バスガイド調などの、不自然なアナウンスは高く評価しない。
 - (c) 採点…点数は100点法で総合的に採点する。

(2) 朗読部門

①次の指定課題4作品から1作品を選び、朗読する。作品の脚色は一切認めない。

作品番号	1	2	3	4
書名	『花戦さ』	『江戸川乱歩傑作選』より 「二銭銅貨」 「心理試験」 「屋根裏の散歩者」 のいずれか1編	『楽園のカンヴァス』	『わたしを離さないで』
著者名 (訳者名)	鬼塚 忠	江戸川 乱歩	原田 マハ	カズオ・イシグロ (土屋 政雄 訳)
出版社	角川文庫	新潮文庫	新潮文庫	ハヤカワepi文庫

②エントリー番号、氏名、作者名、作品名を含め、1分30秒以上 2分00秒以内で朗読する。

※学校名は読まず、エントリー番号の後にすぐ氏名、作者名、作品名を読む。

※作品番号2については、短編名を読み、書名は読まない。

※作品番号4については、作者を「カズオ・イシグロ」と読み、訳者名は読まない。

※抽出は文頭から開始し、文末で終了すること。一文途中の開始や終了は変更とみなす。本文中の()内も読むこと。

③審査基準

(a) 審査の視点

・ 内容

(ア) 作品の選定は適切であるか。

(イ) 朗読として適切な部分を抽出しているか。

・ 朗読の技術

(ア) 内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で適切か。

・ 発声 ・ 発音 ・ マイクの使い方

(イ) 正しく意味を伝える抑揚表現ができているか。

・ 内容把握 ・ イントネーション ・ プロミネンス ・ アクセント

(ウ) 間 (ポーズ) は適切か

・ テンポ ・ ポーズ

(エ) ラジオドラマ調、演劇調、一人芝居調などが過度に演出されているものは評価しない。

(b) 採点…点数は100点法で総合的に採点する。

(3) アナウンス・朗読に共通する事項

①原稿3部を11月22日(木)までに提出する。

規定用紙(様式1-1・1-2)を使用し、袋とじ(仕上りA5判)とする。第1頁を表紙とし、本文は、第2頁以降に記入する。表紙の部門名上部の○を指定の色で塗りつぶすこと。アナウンスは「青」、朗読は「赤」とする。

②提出された原稿は返却しない。

③準決勝、決勝ともに、各自の原稿の他に課題原稿を加える。

④決勝進出者は20名程度とする。

(4) ラジオ番組部門

①作品は、6分30秒以上、7分00秒以内とする。

②作品提出するメディア(媒体)、データの形式、メディア(媒体)の作成方法は以下のとおりとする。

・ CD-R…CD-Audio形式とする。トラックは1つのみで作成すること。

・ 審査用とバックアップ用をそれぞれ別のケースに入れ、ラベルを貼って受付時(12月7日)に提出する。

③番組の最後には「制作は○○高等学校放送部(委員会)でした。」というクレジットコールを入れる。

④計時は、最初の音から、クレジットコールの終わりまでとする。

⑤クレジットコールには、音楽などの他の音声がかぶってはならない。

⑥審査基準

(a) 校内放送に使用する内容であること。

(b) 審査の視点

・ **テーマ（伝えたい内容）**

高校生ならではの視点で、高校生を取り巻く環境の中からテーマを設定し、それを番組の中で効果的に表現しているか。

・ **制作技術**

(ア)メディアの選択は適切か (イ)制作方法 (ウ)取材の方法や努力 (エ)企画・構成
(オ)演出・編集 (カ)音声や効果音の使い方 (キ)内容伝達力 (ク)番組進行表の作成

(c) 採点…点数は 100 点法で総合的に採点する。

(5) テレビ番組部門

① 作品は、7 分 30 秒以上、8 分 00 秒以内とする。

② 作品提出するメディア（媒体）、録画方法、データの形式、メディア（媒体）の作成方法は以下のとおりとする。

(a) ハイビジョン形式…BD-R（BD-AV 形式・MPEG-2 または MPEG-4 AVC/H.264）とする。

1080i、720i いずれも可。

・ BD-R は、必ず「クローズ（ファイナライズ）」処理をして追記できないディスクにすること。

(b) SD 形式…DVD-R（DVD-Video 形式）とする。メニューを入れないものとする。

・ 家庭用ハードディスクレコーダー等で作成された DVD-Video の場合は、必ず「クローズ（ファイナライズ）」処理（汎用の DVD 再生機で再生できる状態）を行うこと。

・ アスペクト比は 16:9（ワイド）とする。

・ 規定のテストパターン（様式規定 3 参照・本大会ホームページよりダウンロード可）を作品の前後に、5 秒間ずつ使用する。

・ 審査用とバックアップ用をそれぞれ別のケースに入れ、ラベルを貼って受付時（12月7日）に提出する。

※提出する BD-R もしくは DVD-R での提出となります。なお、データの互換性に留意の上、作成した機器のみでなく市販のプレイヤー等複数の機器で再生できることを確認の上、提出してください。

③ 計時は、テストパターン（カラーバー）を除いた部分（本編）についておこなう。

④ テレビ局等の第三者が撮影した素材が主である作品は、失格とする。

⑤ 審査基準

ラジオ番組に同じ。

(6) ラジオ番組・テレビ番組に共通する事項

① 高校生活に素材を求めた作品、あるいは高校生活と地域社会とのかかわりを考えた作品で、高校生の視点で描いた独創的な作品であり、それぞれのメディアの特性を生かした作品とする。

ドラマ調の場合には、出演者は自校生徒に限る。

② 番組進行表・作品の提出日

・ 番組進行表 1 部（郵送）… **11月22日(木)必着**

表紙の部門名上部の○を指定の色で塗りつぶすこと。ラジオは「赤」、テレビは「青」とする。

・ 作品… **12月7日(金)**に持参し、受付時に提出する。

③ 提出メディアは、出品作品のみを記録すること。（メニューを入れない）

④ 提出メディアは、誤録防止のための処置をする。

（例）「クローズ（ファイナライズ）」処理など。

⑤ ケースの表に、規定に準じたラベルを貼付する。（様式規定 2 参照）※自作可能

CD-R・DVD-R・BD-R 各メディア本体については、シールを貼らずにディスクに項目（①部門名、②エントリー番号、③県名、④学校名、⑤作品名、⑥メディアの種類）を直接記載する。

プリンタで直接印字するか、ペンで手書きをする。

バックアップには「バックアップ」と明記する。

⑥ 作品の題名は副題も含めて 15 文字以内とする（厳守）。

※作品名が英字のみの場合は、半角文字で 30 文字（スペース含む）まで可とする。

⑦ 作品の中で用いる音楽・絵画・写真等の著作権を伴う著作物については、確実に著作権、著作隣接権の処理を済ませておくこと。特に音楽は、自作自演、もしくは著作権フリーの楽曲を用いるのが望ましい。著作権を伴う著作物については、その一覧を番組進行表末尾に添付する。

※いわゆる著作権フリーの音源素材等であっても、インターネット上のものを利用することは厳禁とする。ただし、NHKクリエイティブライブラリー、アーキー（Free Sound Effect）及びEXインダストリー、エンドレスエコー、サウンドファクトリーについてはそのかぎりではない。

- ⑧ JASRAC への手続きおよび支払いは各校でおこない、その書類の写しを台本番組進行表末尾に添付し提出する。
- ⑨ 応募された参加作品の著作権は、制作者（応募した学校）と主催者に共同して帰属する。詳細に関してはNHK杯全国高校放送コンテストの規定に準じる。
- ⑩ 決勝では、作品再生前に代表生徒が登壇し、学校名と作品名のみ発表する。
- ⑪ 番組進行表は、NHK杯に準ずる形で作成し、1部提出する。
 - 1頁（様式4-1）…学校名・作品名・タイム・制作意図（200字程度）・スタッフ・キャスト
 - 2頁（様式4-2）…CUEシート 必要枚数綴じ合わせる。
 - 3頁（様式4-3）…使用著作物一覧※必要に応じて、様式4-4…音源使用規約・様式4-5…取材・著作物提供許諾
※必要に応じて、著作権処理確認資料（右上に著作物番号を朱書きする）
- ⑫ 番組進行表に記載した制作意図は、所定の様式（本大会ホームページよりひな形をダウンロード）に各県事務局がまとめて入力して提出する。
- ⑬ 作品・番組進行表は返却しない。

13 参加資格

- ① 開催年の12月現在、九州各県高等学校文化連盟加盟校に在学する生徒（ただし高等学校最終学年及びそれに該当する学年を除く）。また、以上の生徒が制作した作品であること。
- ② 各部門への参加は、各県高等学校文化連盟放送専門部の推薦によるものとする。
- ③ アナウンス・朗読部門への参加は、1名1部門とする。
- ④ 番組部門への参加は、1校1作品とする。ただし、各県大会までの参加は1校1作品に限定しない。
- ⑤ 他のコンテストに出品した作品は参加できない。また、当コンテストに参加した作品を他のコンテスト等へ出品することは認めない。

14 参加申込

(1) 参加校：必要事項を入力して、各所へ提出してください。

- | | |
|------------------------|------------|
| a. 「全部門共通参加申込書」（共通様式2） | →各県高文連事務局へ |
| b. 「学校参加申し込み」※各県従来様式可 | →各県放送専門部へ |

- ① a. は11月16日（金）までに、b. は11月12日（月）までに提出する。

(2) 各県放送専門部：必要事項を入力して、各所へ提出してください。

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| a. 「全九州高等学校総合文化祭推薦書」（共通様式1） | →各県高文連事務局へ |
| b. 「九州大会各県エントリー表（〇〇県）」 | →各県放送専門部→九高放コン事務局 |
| c. 「ラジオ・テレビ制作意図（〇〇県）」 | →各県放送専門部→九高放コン事務局 |

- ① a. の共通様式1は11月5日（月）までに提出する。
- ② 申し込みは各県放送専門部が一括して本大会実行委員会事務局へ提出する。
※学校・個人からの個別の受付は行いません。
- ③ 各県放送専門部はb. に必要事項を入力して、11月16日(金) 17:00までにメールに添付して提出する。
- ④ 各県放送専門部はc. の制作意図データを11月22日(木) 17:00までにメールに添付して提出する。
- ⑤ 申込には、別紙のエントリー番号を使用する。

15 著作権に関する使用料および弁当注文他

- ① JASRAC への支払い手続きについて
九州大会事務局の一括申請はおこないません。各校でそれぞれ支払いをおこなってください。

② 宿泊・弁当代等について

- ・本大会の宿泊については、九州大会事務局では行っておりません。各県事務局の指示に従って手続きをしてください。
- ・弁当代については、注文を受けますので、各県事務局が参加申込と一緒に、申し込んでください。弁当代は各学校単位で下記の振込先に一括納入してください。

納入期限： **11月22日(木)**

口座番号：鹿児島銀行 たてばば支店 普通口座 3042957
 全九州高校総文祭放送部門鹿児島大会事務局
 (ゼンキュウシュウコウソウブ`ンサイホウソウブ`モンカゴ`シマタイイジ`ムキョク)

※諸締切日のまとめ

提出締切日 (必着)	提出するもの	提出方法	
		郵送または持参	メール添付
11月 5日 (月)	全九州高等学校総合文化祭推薦書 (共通様式1)	○ (公印あり郵送)	○
11月12日 (月)	学校参加申込		○
11月16日 (金)	全部門共通参加申込書 (共通様式2)	○ (公印あり郵送)	
	各県エントリー表		○
11月22日 (木)	アナウンス・朗読原稿3部	○ (郵送)	
	ラジオ・テレビ制作意図データ		○
	番組進行表1部	○ (郵送)	
	弁当注文・料金納入	指定口座振込	
12月7日 (金)	番組作品及びバックアップ	○ (持参)	

16 エントリー番号表

	アナウンス番号	朗読部門	ラジオ番組部門	テレビ番組部門
--	---------	------	---------	---------

鹿児島	5・10・17 25・31・39 43・48・53 60・67・71	2・11・17・ 25・31・36・ 41・46・53・ 61・65・71	6・13・20・ 31・37	5・12・19・ 32・40
宮崎	6・16・22・ 29・38・49・ 61・66	3・12・26・ 32・40・47・ 56・69	1・16・23・ 32・40	3・9・23・ 25・33
熊本	3・14・19・ 27・40・50・ 54・63	5・14・20・ 28・43・51・ 55・62	4・11・19・ 28・34	6・11・22・ 31・39
大分	7・12・21・ 33・35・44・ 59・69	8・15・24・ 33・37・45・ 54・66	8・10・21・ 25・33	1・16・21・ 27・34
長崎	8・13・24・ 28・36・47・ 57・68	1・9・23・ 34・39・48・ 58・63	3・9・17・ 30・39	8・14・17・ 26・38
佐賀	4・11・20・ 34・42・46・ 58・64	6・10・19・ 27・38・50・ 60・70	5・15・24・ 27・36	4・10・24・ 29・36
福岡	1・15・18 26・32・37・ 45・51・55・ 62・70・72	7・13・18・ 21・29・42・ 44・49・57・ 64・68・72	2・12・18・ 26・38	7・13・20・ 30・37
沖縄	2・9・23・ 30・41・52・ 56・65	4・16・22・ 30・35・52・ 59・67	7・14・22・ 29・35	2・15・18・ 28・35

17 様式規定

様式規定1 アナウンス・朗読部門原稿規定

1-1 表紙

1-2 原稿用紙

様式規定2 番組部門のラベル

様式規定3 テストパターン(カラーバー)

16:9仕様(HD・SD)

様式規定4 番組部門進行表

4-1 表紙 (製作意図、スタッフ・キャスト、確認欄)

4-2 CUEシート

4-3 使用著作物一覧

4-4 音源使用許諾申請書(参考様式)

4-5 取材許諾・著作物等ご提供のお願い(参考様式)

※様式規定4-1式はA4サイズ、左上一カ所をホチキスで綴じること。

また、両面印刷はしないこと。

※様式は、鹿児島県高等学校文化連盟放送専門部HP内

「第2回全九州高等学校総合文化祭鹿児島大会放送部門HP」

<http://kagohou.main.jp/kyukon40.html> からダウンロードできます。